

第2類
医薬品

血行促進作用、抗炎症作用

インドメサールプラス+

経皮吸収型鎮痛消炎剤 [140mm×100mm]

インドメサールプラスは、筋肉痛や関節痛などの痛みを抑える成分インドメタシンに、患部の血行をよくするビタミンE酢酸エステルと、消炎効果をもつグリチルレチン酸をプラス処方したパップ剤です。これらの成分が患部の皮膚からトータルで浸透し作用することで、痛みの原因物質を直接押さえ込み、症状を鎮めてすぐれた効果を発揮します。

⚠ 使用上の注意

してはいけないこと ❌

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は使用しないでください

(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2) ぜんそくを起こしたことがある人。(3) 15才未満の小児。

2. 次の部位には使用しないでください

(1) 目の周囲、粘膜等。(2) 湿疹、かぶれ、傷口。
(3) みずむし・たむし等又は化膿している患部。

3. 連続して2週間以上使用しないでください

相談すること 🗣️

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

(1) 医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この外箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ、ヒリヒリ感、熱感、乾燥感

3. 5～6日間使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この外箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

ご使用に際して、この説明書をよくお読みください。また、必要なときに読めるよう大切に保管してください。

インドメサールプラスの使用法

- 膏体表面の透明フィルムをはがして患部にお貼りください。
- フィルムは親指とひとさし指で膏体をずらすようにすると簡単にはがせます。

■ねんざ



■筋肉痛・肩こりの痛み



■腰痛



■関節痛



【効能・効果】

筋肉痛、関節痛、腱鞘炎(手・手首の痛み)、腰痛、打撲、捻挫、肘の痛み(テニス肘等)、肩こりに伴う肩の痛み

【用法・用量】

○1日2回を限度として患部に貼付してください。

○15才未満の小児は使用しないでください。

＜用法・用量に関連する注意＞

(1) 定められた用法・用量を厳守してください。

(2) 皮膚の弱い人は、使用前に腕の内側の皮膚の弱い箇所に、1～2cm角の小片を目安として半日以上貼り、発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等の症状が起きないことを確かめてから使用してください。

(3) 本剤は、痛みやはれ等の原因になっている病気を治療するのではなく、痛みやはれ等の症状のみを治療する薬剤ですので、症状がある場合だけ使用してください。

(4) 汗をかいたり、患部がぬれている時は、よく拭き取ってから使用してください。

【成分】膏体100g中

インドメタシン……………0.5g ビタミンE酢酸エステル……………0.3g グリチルレチン酸……………0.05g

添加物：カオリン、酸化チタン、ポリビニルアルコール(部分けん化物)、ポリアクリル酸部分中和物、カルボキシビニルポリマー、カルメロースNa、D-ソルビトール、グリセリン、エデト酸Na、N-メチル-2-ピロリドン、ケイ酸アルミン酸Mg、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、l-メントール

【保管及び取扱い上の注意】

(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。

(2) 小児の手のとどかない所に保管してください。

(3) 他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)

(4) 品質保持のため、開封後は袋のチャックをしっかりとめ、外気にふれないようにして保管してください。

(5) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。

発売元



ゼリア新薬工業株式会社

東京都中央区日本橋小舟町10-11

お客様相談室 ☎03-3661-2080

受付 9:00～17:50(土・日・祝日を除く)

すてるときには、お住

まいの市町村の定める

区分に従ってください。

製造
販売元



東光薬品工業株式会社

東京都足立区新田2-16-23

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独) 医薬品医療機器総合機構

<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

フリーダイヤル ☎0120-149-931

品名コード 5796

インドメサールはゼリア新薬工業(株)の登録商標です。